

ellipse

[エリプス]

TOPICS

第一回 お茶の水女子大学賞 湯浅年子賞

～国際的・社会的に貢献する女性研究者たちへ～

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。

REPORT

共催講演会のご報告
「教育格差を考える
だれが学力を獲得しているのか？」
助成金事業のご報告
「伝統芸能でピース・ひろしま楽！」
夢のつばさ♥プロジェクトニュース

INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報
事務局よりお知らせ



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

第一回 お茶の水女子大学賞 湯浅年子賞

～国際的・社会的に貢献する女性研究者たちへ～

お茶の水女子大学は平成 25 年度に「お茶の水女子大学賞」を創設しました。学術分野においても国際的・社会的貢献が広く求められる今日、「学術文化の発展及び国際的な学術文化の交流、社会貢献等において、特に顕著な業績を挙げた」女性たちの顕彰と、学生や若い研究者への奨励を旨としています。

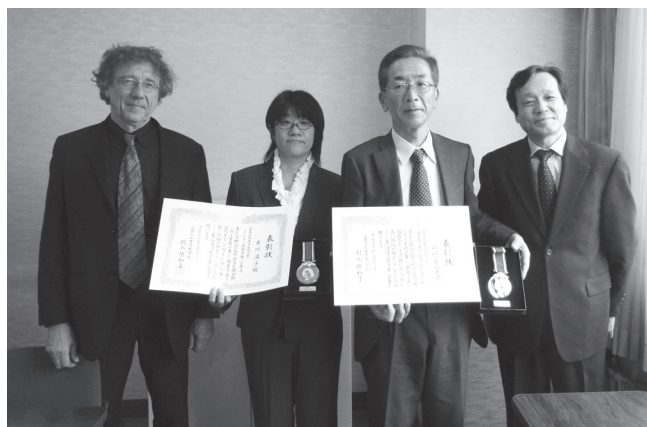
その第一号として「湯浅年子賞」が発足しました。湯浅年子博士(1909 - 1980)は、『Jusqu'au bout 最後まで徹底的に』を信条に、研究環境が整っていなかった時代に、渡仏して研究に邁進し、日仏文化の架け橋ともなった物理学者でした。「湯浅年子賞」は、日仏における湯浅博士の足跡が次世代に受け継がれることを願い、「TYL(湯浅年子ラボラトリー)」(大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構(KEK)運営)の協力を得て設立されました。

湯浅年子博士とお茶の水女子大学

湯浅年子博士は、1931年に東京女子高等師範学校理科を卒業後、東京文理科大学(現・筑波大学)物理学科に進み、研究者として歩み始めましたが、1940年前後の日本は女性が物理学研究を続けるのは困難な社会でした。そうした中、人工放射能を発見したジョリオ＝キュリー夫妻の論文に強い影響を受け1940年に渡仏。コレージュ・ド・フランス原子核化学研究所でジョリオ博士を師として研究に励み、1943年に仏国理学博士号を取得しています。

第二次世界大戦のため帰国して、東京女子高等師範学校教授、お茶の水女子大学教授として女子学生の育成に努めましたが、1949年にジョリオ博士の招聘により再渡仏。以後はCNRS(フランス国立中央科学研究所)の研究者として世界的に注目される成果を上げる一方、日本から若手研究者を招き、その育成と共に日仏の交流にも力を注ぎました。物理学研究だけでなく、スケッチ・絵画・詩歌や著作などにも優れた才能を発揮し、科学、芸術、人生、宗教等に対する独自の省察を『パリ随想』三部作などに著しています。

お茶の水女子大学は、湯浅年子博士の業績と貢献を記念して



(左から) Denis Perret-Gallix 氏 (Toshiko Yuasa Lab.)、市川温子 氏、山崎俊嗣 氏、幅 淳二 氏 (Toshiko Yuasa Lab.)

「湯浅年子記念特別研究員奨学基金」を設け、毎年1名の特別研究員を選出してフランスへの留学を支援しています。

湯浅年子賞

湯浅年子賞は、「自然科学の諸分野において、顕著な研究業績をあげた者」「自然科学の社会的普及活動、あるいは同分野の女性研究者を増大させる活動において顕著な業績を挙げた者」を対象とし、「国内あるいは国外において既に高い評価が確立している女性」を顕彰する金賞と、「近い将来当該分野において国際的に活躍する女性になると認められる者」を顕彰する銀賞とがあります。第一回湯浅年子賞は、金賞が2名に授与され、銀賞は該当者がありませんでした。

【金賞】

山崎美和恵氏(埼玉大学名誉教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究協力員、理学博士)

業績「湯浅年子博士に関する研究と著作活動」

市川温子氏(京都大学大学院理学研究科准教授、理学博士)

業績「ニュートリノ振動実験への寄与」

山崎氏は埼玉大学を定年退官後、師である湯浅博士が遺した研究論文、研究ノート、科学的随想、短歌や詩、日記、スケッチ等の膨大な資料を詳細に読み解き、『パリに生きた科学者 湯浅年子』(岩波ジュニア新書、2002年)、『物理学者湯浅年子の肖像 Jusqu'au bout 最後まで徹底的に』(梧桐書院、2009年)などの著書や資料目録の作製によって、人々に湯浅博士の足跡を伝えました。一人の女性自然科学者の生涯を明らかにするだけでなく、「科学とは何か」を改めて現代人に問いかけ続けた山崎氏の誠実な著作活動は、湯浅賞の趣旨によく合致するものです。

市川氏は、2013年に世界に先駆けてニュートリノ振動を発見したT2K(Tokai to Kamioka)実験に共同研究者として参加した業績が受賞対象となりました。市川氏は東海村において、従来と比較して格段に高品質・高強度のニュートリノを発生させることができるシステムを開発し、ニュートリノ振動の発見に大きく貢献しました。学生たちの輝かしいモデルとして、今後のさらなる活躍と後進育成への期待も込めて、金賞が贈られました。

第一回湯浅年子賞 授賞式

〈プログラム〉

1. 賞状・副賞授与
2. 挨拶
羽入佐和子(お茶の水女子大学長)
幅 淳二(Director, Toshiko Yuasa Lab.)
3. 選考結果報告
菅本品夫(選考委員長・お茶の水女子大学理学部長)
4. 受賞セレモニー: 受賞者講演
○山崎美和恵「湯浅年子博士に関する研究と著作活動」
DVD上映
山崎俊嗣(親族・東京大学大気海洋研究所教授)
館かおる(お茶の水女子大学教授)
○市川温子「ニュートリノで迫る素粒子の謎、宇宙の謎」

2014年3月26日、第一回湯浅年子賞の授賞式が行われ、羽入学長から表彰状が、TYLのDenis Perret-Gallix氏から副賞として記念のメダルが授与されました。市川氏には、山崎氏の著書『物理学者湯浅年子の肖像』も贈呈されました。

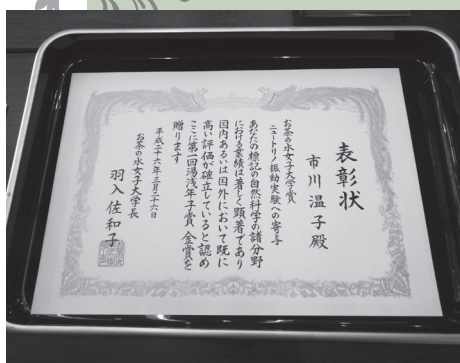
大変残念なことに、山崎氏はこの授賞式を待たずして昨年12月に急逝されました。受賞セレモニーでは、2008年5月に開催されたホームカミングデイの講演で湯浅博士を熱く語る山崎氏の映像が上映され、続いて甥の山崎俊嗣氏がご親族の立場から美和恵氏の思い出話をしてくださいました。さらに、ジェンダー研究センターの館教授が「湯浅年子博士に関する研究と



羽入学長から市川温子氏への賞状授与



湯浅年子賞記念メダル



お茶の水女子大学賞の表彰状

著作活動」と題して山崎氏の業績を振り返り、参加者一同で山崎氏を偲びました。

一方、市川氏の受賞講演は「ニュートリノで迫る素粒子の謎、宇宙の謎」と題して、T2K実験について解説するもので、70枚近いパワーポイント資料を用いて、高度に専門的な内容を部外者に少しでも分かりやすく伝えたいという思いが横溢するものでした。また、「今回の受賞は実験に携わった約500人の共同受賞」、「夫や娘ら家族に感謝したい」といった言葉からは、市川氏の素晴らしい人柄も感じられ、会場は温かい雰囲気包まれました。

記念すべき第一回目の湯浅年子賞を、この上なくふさわしい方々が受賞されたことを実感できるひと時でした。

第二回湯浅年子賞を募集しています。詳しくはHP (http://www.ocha.ac.jp/danjo/yuasa_toshiko_prize.html) をご覧ください。

山崎美和恵先生の思い出

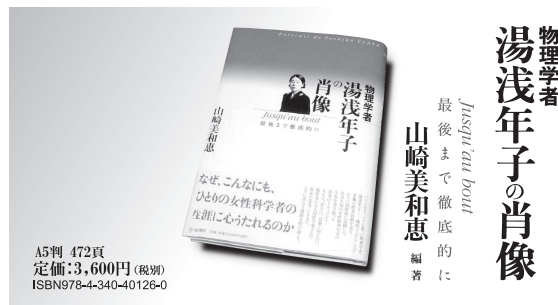
金賞を受賞された山崎美和恵先生はお茶の水学術事業会の終身会員でいらっしゃいました。さらに、『湯浅年子の肖像』の編著者としても当会とご縁のあった山崎先生の思い出を、振り返ります。

山崎美和恵先生には、平野由紀子さん（お茶の水女子大学名誉教授、お茶の水学術事業会理事長）が研究科長だった頃、そのサロンでお会いして以来親しくさせていただいた。ある時、先生が湯浅年子博士の評伝を執筆なさり、自費出版を検討中だと伺って、僭越にも、流通ルートに乗る書籍としての出版をお勧めした。当時、発足直後の事業会スタッフとして夢を膨らませていた私は、山崎先生のご本をお茶大のロゴマーク入りで事業会から出版できないかと考えた。平野さんのご紹介で出版関係者に種々お話を伺ったが道は険しかった。事業会にも出版を手掛ける体力はなかったし、一時学内に漂った「お茶の水女子大学出版会」への期待も霧消し、完全に頓挫した。そこへ小さな出版社が浮上し、事業会メンバーが先生をバックアップする体制で出版を目指したが、無惨にも倒産で、先生が最初に渡したお金も戻らなかった。

その後、ジェンダー研究員の小山さん、能登印刷営業担当の播磨さん、梧桐出版編集長の能登さん達のお力添えによって2009年5月に『物理学者 湯浅年子の肖像』が堂々470頁の気品ある書籍となって世に出た。

事業会では会員特価を設定して宣伝・頒布に動き、多様な発送作業を担ったが、とりわけ「ellipse」の記事を読んだ方々の問い合わせやご注文への対応が楽しかった。終身会員でもある先生の著作を介して、事業会を応援して下さる方々と繋がることのできる嬉しさにドキドキしながらお返事を書き荷造りをして、双方向性の力強さ大切さも実感した。

2009年9月には「湯浅年子生誕百年記念メモリアルコンファレンス」にランジュバン＝ジョリオ博士が来日されて「キュリー家の流れを汲む日本の女性科学者湯浅年子」と題する記念講演をされた。前年の春には東京国立科学博物館の企画展「なでしこたちの挑戦」でも先駆的女性科学者湯浅博士の展示紹介があり、さながら湯浅年子 year となって、山崎先生は大活躍なさった。このジャストタイミングに最も信頼度の高い湯浅博士の評伝が出版されたのは、まさに僥倖だったが、思い返せば山崎先生のお人柄の故に「時と人」が絶妙にマッチングしたと納得できる。ご自身は「こういうの、湯浅マジックって言う



のよ」と湯浅博士の影響力を語っておられたが。

先生は、『肖像』の出版が遅延している間も出版後も、絶えず関係資料の整理博搜に注力し、原稿にも手を入れ続けておられた。昨年は2度平野さんと一緒に豊橋で先生とお会いしたが、その4～5時間も湯浅博士の短歌の難解部分の解釈などに終始した。そうした成果をご自身で美しい小冊子に仕立てて平野さんや私達に何冊も次々と送ってくださった。その気迫は恩師への究極の誠実さそのものだと思われた。

山崎先生は昨年12月15日に急逝された。私は13日付けのお便りを、週末を経た16日に落掌したが、この時もやはり「やっと出来た『パリ断想』の改版」の「目下一番よい出来のものを」と同封して下さっていた。文面には「パソコンが不調の極みになってしまったので買い換え」たが操作法の違いで使いにくい、とアクティブに活躍しておられるご様子が読み取れ、また「私の心臓は残念ながらトレーニングの方法はありません。でも年は越せると思っています」ともあって、お元気にお過ご

しの様子に安心していたが、既に旅立っておられた。3日後に届いた訃報に驚愕したが、山崎先生は恩師湯浅博士の信条「最後まで徹底的に」を貫いて、生き尽きて逝かれたのだという思がこみ上げて、鮮烈な感動を覚えた。

誰に対しても隔たりのない優しさと温かさの溢れる麗しいお人柄だったが、特筆すべきは、その温顔の対極にある自主独立の強い精神力である。女高師にはこういう方々が学ばれていたのか、女高師はこういう方々を世に送り出していたのかと感嘆すること再々であった。山崎先生から毅然と生きることの美しさを教えていただいたことを忘れない。

（お茶の水学術事業会 河井扶桑子）



写真中央が山崎美和恵先生、右は菅本品夫氏（お茶の水学術事業会理事）、左は筆者（2009年11月8日 湯浅年子生誕100年記念企画『21世紀を担う若者たちへのメッセージ』の会場にて撮影）

夢のつばさプロジェクトニュース

2013年冬～2014年春の活動

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的に、2011年3月の震災直後から続けられている活動です。お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体が実施母体となっています。

① 2013年冬のクリスマスキャンプ

【実施期間】2013年12月21日～24日

【開催地】(株)ブリヂストン保養所奥多摩園(青梅市)、青梅市民会館(青梅市)

【参加内訳】小学生18名、中・高生7名、大学生スタッフ40名、大人スタッフ15名(看護師を含む)

【主な内容】

12月21日	開会式、アイスブレイクゲーム
12月22日	朝の勉強会、夢のつばさ祭り(お店屋さん、縁日)
12月23日	料理実習(シチューとサラダ)、巨人生ゲーム、クリスマス音楽会(フルート・バイオリン・ピアノ)、(サンタさんがプレゼントを持って登場)
12月24日	閉会式、写真スライドショー、保養所の方々へ御礼

今回は遠出をせず、保養所とその近辺で時間的にもゆとりを持って過ごしました。自分たちでシチューとサラダを作る体験は好評で、それぞれレシピを大事に持って帰りました。また、恒例のクリスマスパーティには、桐朋学園から2名の素敵なフルート奏者を迎えて、大人スタッフ、学生スタッフがピアノを演奏するなど、楽しい時間を持つことができました。パーティの



◆クリスマス音楽会

最後には、トナカイに担がれたサンタクロースが登場し、支援者の方々から贈られたプレゼントを配りました。

普段から、子どもたちが少々人見知りをす

る様子が気になっていましたので、今回のキャンプは、「さまざまな機会に出会う人たちに気持ちよく挨拶をする習慣を身につけてほしい」と、学生スタッフとも相談をして臨みました。大学生は、率先して保養所の方々や大人スタッフと挨拶を交わし、子どもたちも一緒になって気持ちよく挨拶をするようになりました。スタッフ一同、子どもたちが自らを育て、心豊かな人に成長していけるよう、今後も寄り添って行きたいと決意を新たにしています。

② 2014年春の交流会

【実施日】2014年3月30日

【開催地】榴ヶ岡市民センターほか(仙台市)

【実施内容】学生執行部から、子どもたちの町を訪問して、現地で交流したいという希望があったので、夢のつばさプロジェクトの事業として、仙台へ日帰り訪問することを決めました。これまで夢のつばさキャンプに参加した子どもたちを対象とし、スタッフ有志も同行して1日を過ごしました。



◆2014年春の交流会

夢のつばさキャンプには、繰り返し参加する子どもも増えているので、上級生が下級生の世話をする自覚を徐々に育てたいと考えています。そこで夏キャンプの企画のひとつに、中高生に子どもスタッフとして参加してもらうことを考え、今回の交流会で準備作業を開始しました。今後も話し合いを続けて行く予定です。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄付のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通 1284200

【名称】特定非営利活動法人お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子(この口座は、夢のつばさ専用口座となっております)で協力いただける範囲でご寄付賜りますれば幸いです。ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせくださいませ。領収書をお送りいたします(恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください)。連絡先:事務担当 滝澤公子 TEL&FAX:03-5978-5362 Email:tsubasa@npo-ochanomizu.org

共催講演会のご報告

「教育格差を考える だれが学力を獲得しているのか？」

講師 耳塚 寛明氏 (お茶の水女子大学理事・副学長 教授)

【開催日時】2013年12月7日(土) 14:00～16:00 【会場】お茶の水女子大学 本館 306
 【主催】お茶の水地理学会 【共催】お茶の水学術事業会 【参加】85名(うち保育2名)

お茶の水地理学会では、会員のみではなく一般の方々の生涯学習にも貢献できるよう、年に一回公開講演会を開催しています。

2013年は、教育社会学を専門とする耳塚寛明先生を講師にお迎えしました。耳塚先生は、OECDの国際成人力調査(PIAAC)に見る日本人の“大人の学力”に触れつつ、今、私たちが陥るべき子どもたちの学力格差の問題について解説してくださいました。



【講演要旨】

これまでの日本の教育政策は教育条件の地域間格差を縮小することに心を砕いてきました。文部科学省が実施している「全国学力・学習状況調査」からは、その克服に一定の成果が見て取れます。しかしそれに代わって、家庭的背景による学力格差という新たな問題に直面することになりました。

日本の教育界は長く「努力すれば学力は上がる」と信じてきました。イギリスの社会学者マイケル・ヤングは著書『メリトクラシー』の中で、「merit(メリット) = IQ(能力) + effort(努力)」と定義し、メリットを持った人々が高い地位について人々を支配する社会をメリトクラシーと呼びました。これは業績主義社会や実力社会などときわめて近い社会の姿です。しかし現代日本においては、努力の効果は限定的であると言わざるを得ません。

JELS (Japan Education Longitudinal Study) の知見

お茶の水女子大学教育社会学研究室では、2003年から、二つの対照的な地域を抽出して、小3、小6、中3、高3の4学年の児童生徒と保護者を対象としたJELSという調査を実施しています。

Aエリアは、関東地方大都市近郊の人口約25万人の地域。Cエリアは東北地方の人口約9万人の小都市です。Aエリアは公立小学校卒業後に、公立中学校以外に私立中学校等の選択肢があるのに対して、Cエリアはそれが皆無であるという重要な違いがあります。

ここに小学校6年生の算数の学力調査の主な知見を示します。

- 1) 〈Aエリア〉学力と大きな関連を持っていたのは、①受験塾への通塾、②家庭学習時間の長さ、③父親が大卒。
- 2) 〈Cエリア〉①父親が大卒、②性別、③学習時間の長さが学力と関連。しかし、家庭的背景と学力の関連はAエリアよりずっと小さい。代わって、著しい学校差、学級差が見られた。

エリア別に学力に影響を与える要因に違いが見られます。私立中学校の有無、そこへの進学準備の必要性、それに対応した家庭の教育戦略(特定の階層に対してアスピレーションを鼓

舞)等に関する地域的環境の差異が、学力形成過程の決定的な差をもたらしていると考えられます。

保護者調査による知見

これまでの日本の学力格差研究は、調査対象が児童生徒に限られ、家庭的背景に関する確かなデータ、とりわけ家庭経済に関する変数を欠いていました。そこで私たち研究グループは、保護者調査を実施して、再度Aエリアについて分析を行いました。その結果、学力の規定要因として重要なのは、①学校外教育費支出、②保護者の子どもに対する学歴期待、③家計所得でした。つまり、これらが高い家庭の子どもほど学力が右肩上がりに高くなる傾向にあるのです。

ペアレントクラシー (parentocracy) の到来

イギリスの社会学者フィリップ・ブラウンは、市場化された社会においては、人々の選抜は「能力+努力=業績」というメリトクラシー方程式ではなく、「富+願望=選抜」というペアレントクラシー方程式に沿って行われるようになると指摘しています。日本社会もまた、親の富(学校外教育費支出、世帯所得)と願望(学歴期待)が子どもの学力を規定しているという意味で、ペアレントクラシーへの道を歩んでいると推測できます。

ペアレントクラシーにおいては、平等な競争という前提が保証されないわけですから、機会を均等にするだけでは問題は解決しません。学力格差は、もはや教育界だけの問題ではなく、所得格差の緩和や雇用を促進する政策、学齢以前の乳幼児期の生育環境格差解消や保育機会の拡充政策を必要としています。

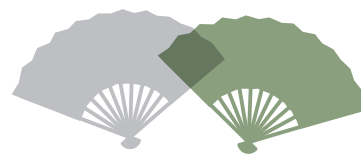
一方、教育行政は、地域や学校間に見られる教育格差の実態と大きさを点検して、その是正に必要な資源(人・モノ・財源)を投入する政策を講じるべきです。さらに個々の学校と教員にも期待したいと思います。教育の成果は、子どもを指導し家庭を支援する学校現場に依存します。学力低位層に焦点づけた、家庭学習指導を含む「ていねいな底上げ」指導が必要です。

(お茶の水地理学会 須野原智恵子)

*耳塚先生の編著書『教育格差の社会学』(2014年1月、有斐閣、本体価格1,900円)もご参照ください。

助成金事業のご報告

第8回瀬戸内文化のにぎわい 「伝統芸能でピース・ひろしま楽！」



【開催日時】2014年1月11日(土) 13:30～15:30

【会場】アステールプラザ中ホール能舞台(広島市中区)

【主催】たつじんくらぶ (<http://blog.canpan.info/tjclub/>)

たつじんくらぶは、平成6年に設立し、「和文化継承」「脳力(のうりき)開発」「情報交換」「後世への貢献＝社会貢献」そして「エイジング・クオリティー(人生のたつじんに向かう)」を目的として活動しています。平成15年には子ども対象の伝統文化継承活動部門を立ち上げ、ワークショップや伝統芸能塾を開いて、子どもたちに、能楽、狂言、浄瑠璃、講談、邦楽、日本舞踊、落語などの伝統芸能に触れさせ、発表会で実演させる活動を続けています。伝統芸能には、子どもたちの自己表現を豊かにし、精神を落ち着かせ、健やかな身体を育成する力があると思います。

「伝統芸能でピース・ひろしま楽！」と銘打った「第8回瀬戸内文化のにぎわい」では、前半に子ども伝統芸能塾の塾生43名、教員3名、公募の社会人5名が舞台発表をし、後半は広島在住の一流のプロ5名による演奏と舞が披露されました。

これまでは「内容はとてもいいが、観客が少ないのもったいない」という声が多かったのですが、今回は多数の子どもを含む250名近くの来場者がありました。そして「伝統音楽が一堂に聞けて、とても良かった」「後半出演者も地元で素晴らしい人がいることを認識できてとても良かった」「子ども達もよくやった」との感想をいただきました。

プログラム概要

〈楽1〉

子ども日本舞踊塾、子ども長唄・三味線塾
—地唄舞「さくら」長唄「供奴」

〈楽2〉

子ども能楽塾—「狸々」「鞍馬天狗」「草紙洗小町」
能楽講座(教員グループ)—「高砂」
社会人グループ「羽衣」
5分閑話「伝統音楽はこれからだ！」(塚本修一)

〈楽3〉

尺八と箏—「春の海」「萌春」
雅楽—「双調調子」「賀殿急」

〈楽4〉

能舞—「高砂」

出演した子どもたちは、一生懸命に練習を重ね本物の能舞台に立つという経験を通して大きな達成感を味わったのではないかと思います。保護者の方々からは今後も続けたいとの声が寄せられ、伝統芸能の普及促進の効果は得られたと思います。ご出演、ご協力くださったすべての皆様に感謝です。

(たつじんくらぶ 代表 吉原通庸)



▲日本舞踊



▲能楽



▲長唄

お茶の水学術事業会では、定款に定める「教育・研究活動に関する事業」の一環として、「講演等の共催事業」「学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業」を行っています。詳細は、当会HP (<http://www.npo-ochanomizu.org/>)「共催・助成金」をご覧ください。



お茶の水女子大学 イベント情報

2014年6月下旬以降に開催される各種イベントのお知らせです。詳細は、各主催者にお問い合わせください。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2014年6月29日(日) 14:30～17:30	お茶の水女子大学 ECCELL 第5回保育フォーラム 『日本の保育現場における「遊び」の意味』 講師：河邊 貴子(聖心女子大学教授) 榊原 洋一(お茶の水女子大学大学院教授) 日本の保育は、子どもの「遊び」を中心にし、遊びの中にいかに豊かな学びがあるかということを大切に考えてきました。日本の保育者が遊びをいかに重視し、保育の質を高める努力をしているか、保育現場の意識調査や保育実践研究を通して考えたいと思います。	無料	【会場】お茶の水女子大学 本館 306 室 【主催】お茶の水女子大学 特別経費「乳幼児教育を基軸とした生涯学習モデルの構築 (ECCELL)」 【詳細】 http://www.cf.ocha.ac.jp/nyuyoji/ 後日、ECCELLサイトに掲載。ポスター、チラシも学内配布予定。 【問合せ】ECCELL 事務局 E-mail: nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp Tel&Fax: 03-5978-5949 【申込み】①氏名(ふりがな)、②住所、③所属をご記入のうえ、E-mailまたはFaxにてECCELL事務局までお申込みください。
2014年7月 19日(土) 理学部 20日(日) 生活科学部 21日(月・祝) 文教育学部 ※開催日時は状況により変更する場合があります。	学部オープンキャンパス 2014 各学部の説明会、附属図書館・歴史資料館の見学、学生による相談コーナー、お茶大グッズの販売など ※詳細は今後、大学HPの「学部オープンキャンパス情報」 http://www.ocha.ac.jp/event/opencampus_2014.html に掲載されますので確認のうえ、お出かけください。	無料	【問合せ】 お茶の水女子大学 広報チーム Tel: 03-5978-5105 E-mail: info@cc.ocha.ac.jp ※混雑が予想されます。より多くの高校生が参加できるように、付き添いの方の人数にご配慮いただければ幸いです。
2014年 7月19日(土)、20日(日)、 21日(月・祝) ※学部オープンキャンパス と同時開催となります。	歴史資料館 特別公開 大学の歴史や宝物を紹介する常設展示、 企画展示「日本初の女子大学生誕生 100年 黒田チカと牧田らく」をご覧ください。	無料	【主催】お茶の水女子大学歴史資料館 【会場】お茶の水女子大学歴史資料館(大学本館1階) 【問合せ】お茶の水女子大学図書・情報チーム情報基盤係 E-mail: shiryoo@cc.ocha.ac.jp
2014年 7月23日(水) 15:00～16:30	H26 年度「格差社会の人間発達科学論 A」 公開シンポジウム『世界の子ども・子育て格差』 【基調講演】浜野隆(人間文化創成科学研究科准教授) 【コーディネータ・司会】菅原ますみ(人間文化創成科学研究科教授) 【概要】2014年度前期「子どもの発達にみる格差：地域・学校・家庭」では、浜野隆准教授を基調講演者にお迎えし、「世界の子ども・子育て格差」をテーマに公開シンポジウムを開催します。講演では、先進国・途上国における子どもの発達と教育の現状、格差克服に向けた政策、国際援助・協力の課題、お茶の水女子大学の国際協力への取組等についてお話していただきます。講演に対して、参加者の皆さんとの意見交換を通じて、国際的な格差問題について理解を深めたいと思います。	無料	【会場】お茶の水女子大学共通講義棟 2号館 102号室 【主催】人間発達教育研究センター(GCOE 後継部門) H26年度「格差センシティブな人間発達科学の創成」に関する教育事業(事業代表者：菅原ますみ) 【問合せ】人間発達教育研究センター事務局 Tel&Fax: 03-5978-5539 E-mail: ORC-HDE@cc.ocha.ac.jp 【申込み】事前申込不要 ※授業の受講者以外の方も自由にご参加いただけます。
2014年 ①5月13日(火) ②6月10日(火) ③7月8日(火) ④9月16日(火) ⑤11月25日(火) 18:30～20:00	2014 FFF 健康食品フォーラム『栄養食品研究会』 ～食品の隠れた魅力～ 全5講座 ①「中鎖脂肪酸とアルツハイマー予防」青山敏明(日清オイログループ㈱執行役員) ②「卵の酸化機能」近藤和雄(お茶の水女子大学大学院教授) ③「コーヒーの美肌効果」市橋正光(再生未来クリニック神戸院長) ④「食物繊維の肥満予防」笠岡誠一(文教大学健康栄養学部准教授) ⑤「ペプチドの血圧低下作用」講師未定	各講座 2,500 円	【会場】お茶の水女子大学 大学本館 103 室 【主催】NPO 日本健康食品評価認証機構 【共催】お茶の水女子大学生環境教育研究センター、 お茶の水女子大学寄附研究部門「食と健康」 【詳細】 http://www.jact-fff.or.jp/forum.html 【問合せ・申込み】NPO 日本健康食品評価認証機構 Tel: 03-3565-6649
2014年10月～ 2015年1月(後期開講)	知の市場公開講座 公開講座ネットワークである知の市場は2014年度に全国37拠点で78科目を開講します。2014年度後期にお茶の水女子大学で開講する7科目はCT137(新規：化学物質総合経営学事例研究1)、CT541(継続：金融特論2)、CT574(新規：法学入門)、UT114(新規：化学物質リスク評価)、UT135(継続：規範科学基礎論)、UT425(新規：労働衛生管理)、UT551(継続：知的財産権論)、放送大学文京学習センターで開講する2科目はUT433(新規：食と農業の安全論)、UT812(継続：プロフェッショナル論)です。 (詳細は知の市場 HP・ http://www.chinoichiba.org 参照)	無料	【会場】お茶の水女子大学または放送大学文京学習センター 【主催】お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター(増田研究室)と知の市場(直轄) 【募集】後期の受講者募集は2014年7月1日から開始 【受講応募申し込み】 ①受講者登録：知の市場 HP・ http://www.chinoichiba.org ②科目応募申込：お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター(増田研究室)・知の市場(直轄) HP・ http://www.chinoichiba.org/lwwchp 【問合せ】知の市場お茶大・知の市場(直轄)事務局 E-mail: chinoichiba.kaiko@gmail.com
2014年11月(予定)	GREAT-Ocha (Global Research Exchange at Ochanomizu University) 海外女子大学との連携のもと、学部生3年生の卒業研究の英語による発表を実施します。グローバルな形での学問的発信の能力を育成することを目的とするシンポジウムです。	無料	【会場】お茶の水女子大学 【主催】グローバル人材育成推進センター 【問合せ】グローバル人材育成推進センター(石田 Tel: 03-5978-2734)または、Email: great-ocha@cc.ocha.ac.jp 【申込み】詳細はHPに掲載予定です(下記HPをご覧ください)。 ※過去のGREAT-Ochaにつきましては、 http://www.ocha.ac.jp/intl/ocgl/global/great_ocha.html をご覧ください。

＊お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾

2015年に140周年を迎えるお茶の水女子大学は、これまでの女性リーダー育成の実績を生かし、キャリアアップを目指す女性のための徽音塾（塾長：羽入佐和子学長）を2014年5月に開講しました。

「徽音」とは、直訳すると「美しい声」であり、「美德」を意味しています。徽音塾に集う女性たちが、自分を磨き、美しく響きあって共に学びを深め、実践に生かすことと、それが社会に共鳴の輪となって広がることへの期待を込めて、この名称がつけられました。

企業等で管理職などの指導的な立場に就くことを目指す女性を対象に設定しており、女性のエンパワメントをはじめ、経営学や組織マネジメント、財務会計など、厳選された6つの講座があります。土曜日午後を開講し、1講座（4日間、1コマ90分×8回）からでも学ぶことができる、働く女性にも学びやすいカリキュラム設計となっていますので、ふるってご参加ください。秋学期と冬学期の講座は以下のとおりです。詳細は、徽音塾のHP（<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/>）をご覧ください。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2014年10月 4日(土) 11日(土) 18日(土) 25日(土) 各13:30～15:00 15:10～16:40	お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 【秋学期】10月：経営戦略・マーケティング 【講師】 露木恵美子氏（中央大学大学院戦略経営研究科（ビジネススクール）教授）、竹内淑恵氏（法政大学経営学部市場経営学科 教授）	1講座 27,000円 （卒業・修了生）、 30,000円（一般）	【会場】 お茶の水女子大学本館 127室 【主催】 お茶の水女子大学 【主な内容】 マーケティングの最新理論や企業の実例について学び、経営戦略およびマーケティングの基礎理論を理解し、企業における経営戦略策定の視点、方法を習得することを目的とする講座です。 【問合せ】 kiin-le@cc.ocha.ac.jp 【申込み】 書類選考。（上記徽音塾のHPをご参照ください。）
2014年11月 1日(土) 15日(土) 22日(土) 29日(土) 各13:30～15:00 15:10～16:40	お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 【秋学期】11月：コーポレート・ガバナンスとIR 【講師】 吉村貞彦氏（吉村貞彦公認会計士事務所代表 公認会計士）	1講座 27,000円 （卒業・修了生）、 30,000円（一般）	【会場】 お茶の水女子大学本館 127室 【主催】 お茶の水女子大学 【主な内容】 株式会社とコーポレート・ガバナンスの仕組み並びに今後の動向等について理解することを目的とする講座です。 【問合せ】 kiin-le@cc.ocha.ac.jp 【申込み】 書類選考。（上記徽音塾のHPをご参照ください。）
2015年1月 10日(土) 17日(土) 24日(土) 31日(土) 各13:30～15:00 15:10～16:40	お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 【冬学期】1月：財務会計 【講師】 中溝恵津子氏（中溝公認会計士事務所 公認会計士）	1講座 27,000円 （卒業・修了生）、 30,000円（一般）	【会場】 お茶の水女子大学本館 127室 【主催】 お茶の水女子大学 【主な内容】 簿記・会計の原理を理解し、マネジャーの立場から財務諸表の評価、企業の資金の流れおよび経営管理、財務管理について理解することを目的とする講座です。 【問合せ】 kiin-le@cc.ocha.ac.jp 【申込み】 書類選考。（上記徽音塾のHPをご参照ください。）
2015年2月 7日(土) 14日(土) 21日(土) 28日(土) 各13:30～15:00 15:10～16:40	お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 【冬学期】2月：企業法務・労務管理 【講師】 汐崎浩正氏（西村あさひ法律事務所 弁護士（パートナー））	1講座 27,000円 （卒業・修了生）、 30,000円（一般）	【会場】 お茶の水女子大学本館 127室 【主催】 お茶の水女子大学 【主な内容】 企業に関連する法制度とその運用、コンプライアンス実現の仕組み、労働法規と各種制度について知識を習得することを目的とする講座です。 【問合せ】 kiin-le@cc.ocha.ac.jp 【申込み】 書類選考。（上記徽音塾のHPをご参照ください。）

＊附属各校園公開研究会

詳細は、各学校のホームページを参照してください。

附属幼稚園 公開保育	【開催日】 2014年6月27日（金）、2015年2月6日（金） 【研究テーマ】 『探究力・活用力が発揮される生活』 保育を公開し、保育終了後、当日の保育について研究協議を行います。 【対象】 幼児教育に携わっている方、幼児教育を研究している方、 【定員】 60名 【参加費】 資料代 実費1,000円 各回、お申込みが必要です。詳細はHPをご覧ください。 http://www.ocha.ac.jp/~youchien/
附属小学校 公開研究会	【開催日】 2015年2月19日（木）、20日（金） ※第1次案内は、7月頃HPに掲載予定です。 http://www.fs.ocha.ac.jp/
附属中学校 公開研究会	【開催日】 2014年10月31日（金） ※詳細は後日HPに掲載されます。 http://www.ft.ocha.ac.jp/
附属高等学校 公開教育研究会	【開催日】 2014年11月15日（土） ※詳細は後日HPに掲載されます。 http://www.fk.ocha.ac.jp/

共催講演会のご案内 桜蔭会山梨支部講演会

「脳機能から見た認知症 — その予防と治療のために」

講師 高槻 絹子 氏 (エイジングライフ研究所副所長)

〈講師プロフィール〉

- ◆ 1970 年お茶の水女子大学文教育学部卒業。臨床心理士
- ◆ 浜松医療センター脳外科にて、病気やケガで脳に損傷を受けた約三千人の脳機能調査を担当し、脳機能から認知症を理解し早期発見する方法の開発に関わった。現在、認知症の予防及び早期発見と回復のためのシステム「二段階方式」を全国規模で展開しているエイジングライフ研究所の副所長として、「脳の健康」をキーワードに指導・助言・講演などに活躍中。
- ◆ 著書に「ボケません私の老後—早めに見つけ早めに治す方法」(こうち書房) など多数。

【日時】 2014 年 6 月 28 日 (土) 13 時 30 分～15 時 30 分

【会場】 山梨県立男女共同参画センター びゅあ総合 大研修室
甲府市朝気 1-2-2 (Tel : 055-235-4171) JR 金手駅から徒歩 10 分

【主催】 桜蔭会山梨支部 (桜蔭会支部公益事業助成金事業)

【共催】 お茶の水学術事業会

参加無料 定員 150 人 先着順 (6 月 20 日までに参加申込みの方には席を確保します。氏名・電話番号などを明示して下記にご連絡ください)

● 連絡先 河井 (Tel/Fax : 055-228-0057)

新海 (Tel/Fax : 0552-76-5542)

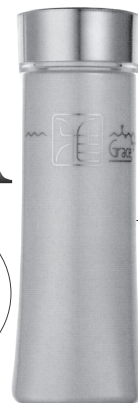
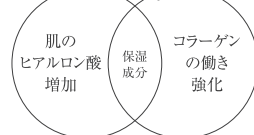
E-mail : fkawa121@wit.ocn.ne.jp (河井)

ライフサイエンスから生まれたスキンケア

細胞生物学の最先端研究の中で室伏教授が発見した新成分 cPA (シービーイー) は、あなたの体内のヒアルロン酸を増やして、本来あるべき良好な状態に導きます。雅 Grace は cPA を配合した世界初のスキンケアです。

室伏きみ子 (お茶の水女子大 教授) 監修

新成分 cPA 配合



売り上げの一部は、
大学へ寄附されます

雅 Grace 定価 (本体価格)

グレイス化粧水 (150ml)	6,000 円
グレイス乳液 (100ml)	7,000 円
グレイス美容液 (30ml)	9,000 円

※写真は、グレイス化粧水 150mL です。

美しく見える肌ではなく、ほんとうに美しい肌へ。
雅 Grace —グレイス—、誕生。

販売元: SANSHO株式会社 TEL 03-5203-0716 WEB <http://c-pa.jp/>

なお、お茶の水学術事業会で、特別価格でお取り扱いをしております。詳しくは、本会事務局まで お問い合わせください。

E-mail : info@npo-ochanomizu.org TEL & FAX : 03-5976-1478

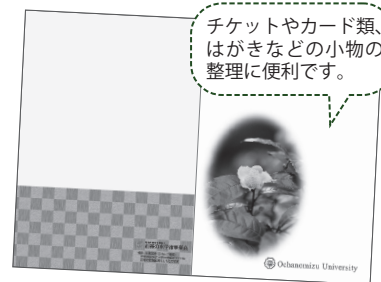
お茶の水学術事業会事務局よりお知らせ

新しいクリアファイルが仲間入りしました！！ A5サイズ100円 (本体価格)

新しいクリアファイルはお茶の水女子大学の校章と意匠に注目。学内に楚々と咲いているお茶の花を大塚常樹氏 (お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科教授) が撮影していただきました。また裏面の模様は、有形文化財に指定されている徽音堂内の装飾をモチーフとしています。

お茶大関連グッズの価格が変わります。

2014年4月からの消費税率変更に伴い、当会で販売しているお茶大関連グッズの単価を、以下のとおり改定させていただきました。何とぞご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。



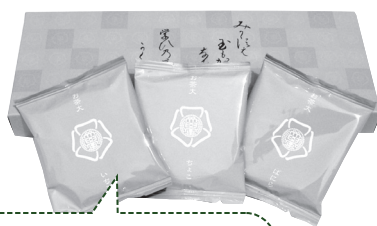
● お茶の水ブックレット

500 円 (本体価格)



● お茶大ゴーフール

600 円 (本体価格)



会員および大学・附属学校園の卒業生、教職員など、関係者の方には割引があります。

● 絵はがき

80 円 (本体価格)



10 枚以上まとめてご注文の場合は、割引があります。

● クリアファイル (A4)

120 円 (本体価格)



上記の本体価格に、8%の消費税が加算されます (送料は別途負担)。

ご注文・お問い合わせは お茶の水学術事業会へ

編集後記

平成 26 年度最初の「ellipse」には、お茶の水女子大学にある様々な活動拠点や附属学校園から多くのイベント情報をお寄せいただき、現代の学校が社会との結びつきの中で、多彩な役割を担っていることを実感しました。今回ご紹介した以外にも、各同窓会主催のものも含めたくさんの公開行事が企画されているようです。みなさんもお気軽に足を運んでみませんか。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は 2014 年 10 月に 2500 部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1 回につき 20,000 円。詳しくは下記までお問い合わせください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部 3 号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail : info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線 護国寺駅から徒歩8分

都バス 大塚2丁目バス停すぐ